**単元　「私の主張、その先に。－理想を掲げて行動する人を語る―」（中学２年生）**

**１　単元の概要**

中学２年生の１２月に、保護者を招き学年全体で「私の主張発表会」を開き、一人一人が自分の主張を行った。その続きとして実施した読書単元である。社会が抱えている問題について「言う」だけでなく、それを実現するためにどう行動するか、自分はどう生きていくのかと考える機会にしたかった。

授業に際して学校司書に、理想を掲げて行動する人（環境問題や人権問題の解決を目指す人、人道支援を行う人、病気や障害とともに生きる人など）の本や伝記を、公立図書館や各附属学校図書館から集めてもらった。さらに授業のなかで数冊の本を取り上げ、その読みどころを紹介してもらった。それを聞き、生徒たちは真剣な生き生きとした表情で本を選び、読んでいた。

経歴や業績だけでなく、その人物の行動や言葉に着目し、その根底にある価値観や信念を知ろうとしながら本を読ませたかった。そのような意識で読むことで、実際に会って話すことはできなくても、本を読むことで時空を超えて、その人とじっくりと対話できるのだという実感をもたせたかった。その後、「その人物に会ってインタビューをしたら」という架空の設定で文章をまとめさせた。本の情報をまとめて一人の人物をクラスに紹介するだけでなく、自分の生き方をみつめ言語化するための学習として行った。今後、それをクラスで読み合うことを予定している。

**２　単元の展開**

|  |
| --- |
| 第一次　人物を語るとは、何をどう語ることなのかを考える。 |
| １時間目　瀬戸内寂聴「中村哲さんの死」を読み、感想を共有する。内容や書き方を分析する。  ２時間目　人物を語るとは、何をどう語ることなのかを考える。 |
| 第二次　理想を掲げて行動した人物と対話しているつもりで、本を読む。  ３時間目　「理想を掲げて行動する人」についての本を選ぶ。  （冬休み）　メモを取りながら本を読む。  　　　　　・環境や出来事（その人の行動の土台であると考えられること）  ・印象に残った行動、言葉→その人の信念や価値観 |
| 第三次　物語「その人に会えたとしたら…」を書く。  ４時間目　自分が選んだ人物について、何をどう書くか、材料を選び構成を考える。  ５時間目　物語（エッセイ）を書く。  ６時間目　物語（エッセイ）を読み合う。 |
| 第四次　理想を掲げて行動した人物に、インタビューをする。（予定）  ６時間目　難民キャンプに本を届けた渡辺有理子さんのご講演を聞く。インタビューする。  ７時間目　感想を伝える手紙を書く。 |